

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換 (有料) してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は下記の「ホームページのご案内」参照)

部品名 (P.1「各部のなまえ」参照)	部品番号
せんセット	S94-△△

△△表示は部品色柄記号です。
お求めの際は製品の色柄までご指定願います。
(底面シールに表示)

<表示例> SX-KA30 - [PM] ←色柄

- せんセットは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんセットの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換 (有料) してください。
- 補修性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ピカボトル シリーズ

■ お手入れにはピカボトルシリーズをおすすめいたします。

商品名 (ピカボトルシリーズ)		品番
ステンレスボトル用 洗浄剤	パウダータイプ(10g×4包入り)	SB-ZA01
	タブレットタイプ(8錠入り)	SB-ZB01
ボトル用スポンジ		MB-AA01

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



フリーダイヤル
0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
..... TEL (06) 6356-2451 (有料)
 - FAXでのお問い合わせ..... FAX (06) 6356-6143 (有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

象印マホービン株式会社



家庭用

取扱説明書

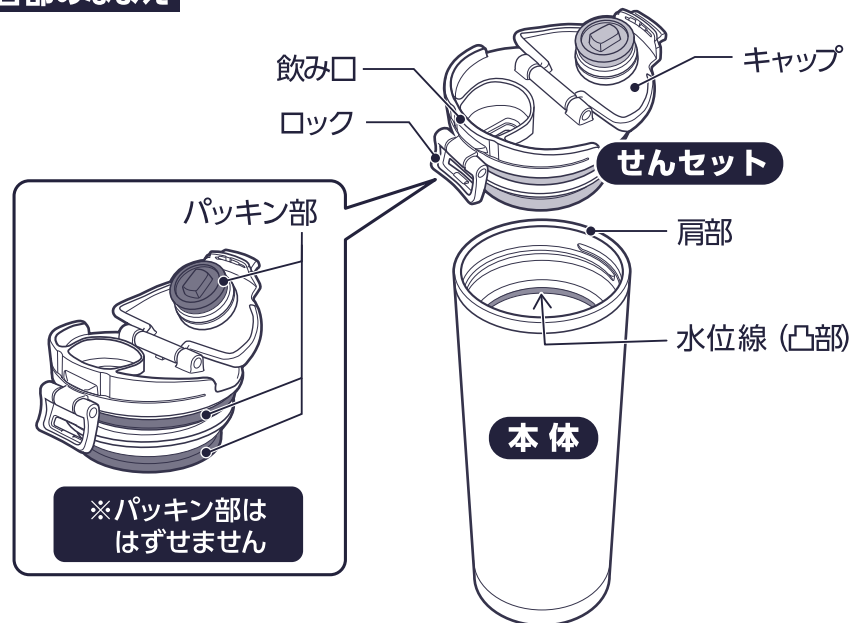
ステンレス キャリータンブラー
SX-KA 型

ご使用前に

必ずお読みください。

お読みになったあとは
大切に保管してください。

各部のなまえ



※パッキン部は
はずせません

● お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

「ZOJIRUSHIオーナーサービス」で
製品登録をお願いいたします。

ZOJIRUSHIオーナーサービスではご登録いただいたお客様に消耗部品の特別価格販売など様々な特典をご用意しています。

「ZOJIRUSHIオーナーサービスWEBサイト」

<https://www.zojirushi-support.jp/>

- 「ZOJIRUSHIオーナーサービス」の登録についてはパソコン・スマートフォン・タブレットといった機器が必要です。
- 本サービスは、日本国内に居住する個人のお客様に限り、日本国内でのみ利用可能です。



必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の

変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために次のことは必ずお守りください。

乳幼児には使用させない。また、乳幼児の手の届くところには置かない
やけど・けがなどの恐れがあります。

製品専用の部品以外はつけない
漏れてやけどなどの恐れがあります。
また、故障・汚れの原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

真空層の内部から水の音がする場合は使用しない

保温性能の低下により、やけどの恐れがあります。
また、内部の水がしみ出た場合、飲んで体調不良を起こす恐れがあります。

真空層



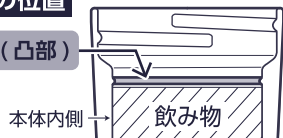
せんセットは確実につけて使用する。
また、使用後や持ち運ぶときは、キャップとロックを確実に閉める
漏れてやけどなどの恐れがあります。また、汚れの原因になります。

飲み物の量は水位線（凸部）より少なめに
入れる

入れすぎてせんセットを閉めると、飲み物があふれる原因になります。また、あとから漏れ出すことがあります。

飲み物の位置

水位線（凸部）



熱い飲み物を入れた場合

●飲み物を飲むときは、急に傾げずにゆっくり飲む

こぼれてやけどなどの恐れがあります。

●製品を激しく振らない

やけど・けがなどの恐れがあります。

●飲むときにやけどの恐れがあるので注意する

断熱効果により、熱い飲み物を入れても製品外側は熱くなりません。

●製品内の圧力が上がり、せんセットをはずすときに固くなる場合があります。そのときは、一度キャップを開けたあとに、せんセットをはずしてください。

無理にせんセットをはずすと、せんセットが飛んで、やけど・けがなどの恐れがあります。

●キャップを勢いよく開けない。また、キャップをしっかり持って開ける。
特に傾けた状態や顔の近くでキャップを開けない

(P.5「5キャップを開ける」参照)

圧力によりキャップが勢いよく開き、飲み物が急に出たり、飛散するなど、やけどの恐れがあります。

熱い飲み物を本体に注ぐときは、転倒しないように注意する

やけどの恐れがあります。

せんセットをつけたまま飲み物を入れない
あふれてやけどなどの恐れがあります。

ストーブ・コンロなど火のそばに近づけない

やけどの恐れがあります。また、変形・変色の原因になります。

せんセット・ロック・キャップを持って運ばない

落としてやけど・けがなどの恐れがあります。

改造・分解修理はしない

故障・事故の恐れがあります。

直火（ガス台など）・電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない

火災・故障の恐れがあります。

電子レンジでの加熱はしない

火花が飛び恐れがあります。また、変形・変色の原因になります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない

飲み物を入れての保温・保冷を目的としたものです。

自動車走行中は飲まない

やけどをしたり、車内・衣類などを汚す恐れがあります。

自動車専用のドリンクホルダーで使用する場合は以下のことを守る

- ①飲み物を飲むとき以外は、キャップを確実に閉める
- ②製品がドリンクホルダーに安定しておさまることを確認してから使用する
- ③ドリンクホルダーはあらかじめ強度を確認してから使用する
- ④市販のドリンクホルダーは据え置き型を使用する

製品の倒れ・傾き、ドリンクホルダーのはずれ・破損などにより、やけど・けが・事故などの恐れがあります。また、車内・衣類などを汚す原因になります。

●一部車種や市販のドリンクホルダーの種類によっては入らないことがあります。

次の物は絶対に入れない

●ドライアイス・炭酸飲料など

製品内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散する恐れがあります。

●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの

さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。

●牛乳・乳飲料・果汁など

成分が腐敗することがあります。また、長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、製品内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散する恐れがあります。

●果肉・お茶の葉など

詰まる、漏れるなどやけど・故障の恐れがあります。

飲み物はその日のうちに飲みきる

腐敗の原因になります。また、長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、製品内の圧力が上がり、せんセットをはずすときにせんセットが飛んだり、飲み物がふき出たり、せんセットが破損して飛散する恐れがあります。

ご注意とお願い

せんセットは本体を立てた状態で確実につける

飲み物が、漏れないことを確認してから使用する

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、本体表面がへこみ、保温・保冷性能が低下する原因になります。

パッキン部を無理に引っ張らない
パッキン部ははずせません。破損すると漏れる原因になります。

缶やびんなどを本体に入れない
傷・変形・故障の原因になります。

本体外側の底に貼っているシールは絶対にはがさない
さび・穴あきなど故障の原因になります。



冷凍庫に入れない
故障の原因になります。

アイスピックなど先のとがったもので突かない
破損や保温・保冷性能低下の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障や漏れの原因になります。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

スポーツ飲料を入れて使用する場合は、外出時など十分にお手入れができない場合でも、使用したあとはすぐに本体内側・本体外側（肩部）・せんセットをよく水洗いする
使用後放置しておく、さび・穴あきなど故障の原因になります。

使用後は必ずせんセットをきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また、飲み物が漏れる原因になります。

使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さび・穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

お手入れの際は次のことを守る
●塩素系漂白剤は使用しない
さび・穴あきなどの故障の原因になります。
●煮沸はしない。また、食器洗い乾燥機・食器乾燥器などは使用しない
傷・さび・変形など故障の原因になります。

湿度が高いときに冷たい飲み物を入れると、せんセットに水滴がつく場合があります。バッグなどには縦置きに入れてください。

バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために製品のロックを閉め、縦にして置く



この製品は直飲みを目的としています。注ぐと飛び散る原因になります。

熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。お早めにお飲みください。

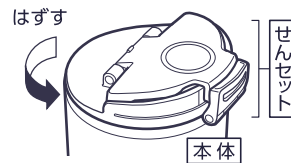
●本体のステンレスは、金属特有のにおいがする場合がありますが、異常ではありません。

使い方

- ご使用前に本体・せんセットを、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。
- せんセットは、キャップ・ロックが開いた状態や、ロックをもったままつけはしない

1 本体からせんセットをはずす

せんセットを矢印の方向に回し、はずします。

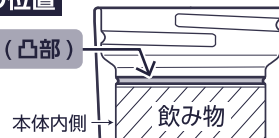


2 飲み物を入れる

あらかじめ本体に熱湯（冷水）を入れ、1分程度予熱（予冷）してから飲み物を入れると保温（保冷）に効果的です。

飲み物の位置

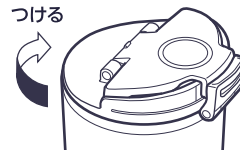
水位線（凸部）



3 せんセットをつける

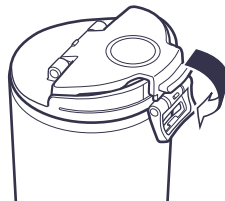
キャップとロックを閉じた状態にして、せんセットを矢印の方向に回し、確実につけます。

- せんセットは本体を立てた状態で、確実につけてください。



4 ロックを開ける

ロックを矢印の方向に開ける



5 キャップを開ける

キャップのつまみを持って矢印の方向に最後まで開ける

- キャップを勢いよく開閉しない

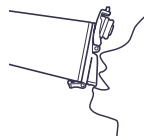
※転倒などによる万一の漏れを防ぐために、キャップのつめがしっかり掛かるようになっています。キャップを開けるときは、本体をしっかり持って開けてください。



使い方 つづき

6 飲み物を飲む

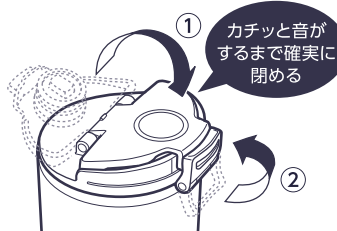
- 飲み物を飲むとき製品を急に傾けずにゆっくり飲んでください。



7 キャップを閉めてロックする

- ① 製品を立てた状態で、キャップをカチッと音がするまで確実に閉める
- ② ロックを確実に閉める

- キャップを開けたまま放置しないでください。
- 飲み物を飲んだあとは、製品を立てた状態でキャップを閉め、ロックを閉めてください。



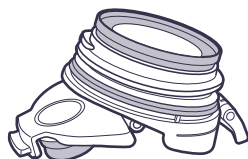
お手入れ ● におい・汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

本体

- ① ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う
 - ② すすぎ洗いのあと、水気が残らないように乾燥させる
- 本体内側は、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどで洗ってください。

せんセット

- ① ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う
- 洗にくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
- ② すすぎ洗いのあと、水が残らないように数回振り、水気をふく
- ③ キャップを開いた状態でキャップを下にして置き、水気が残らないように乾燥させる



お手入れ つづき

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また、食器洗い乾燥機・食器乾燥器などは使用しないでください。
- シンナー・ベンジン・みがき粉・研磨剤入り洗剤・たわし類(ナイロン・金属製など)・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面などを使用しないでください。製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。また、本体外側の塗装・印刷・シールは、塩素系以外の漂白剤でも、はがれる原因になるため、お手入れには使用しないでください。
- 本体は丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。製品が損傷する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質・不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットをつけずに30分~1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(P.6、7「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側・せんセットにごびりついた茶しぶ・コーヒーなどの汚れには「ピカボトルシリーズ ステンレスボトル用洗剤」をご利用ください。(別売品)(P.8参照)

- 「ピカボトルシリーズ ステンレスボトル用洗剤」を使用する場合は、せんセットを本体からはずしてください。

故障かなと思ったとき

症状	原因	処置
せんセットから飲み物が漏れる	パッキン部が汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。(P.6、7「お手入れ」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2 飲み物の位置 参照)
飲み物(本体内側・せんセット)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたリ、本体内側・せんセットに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。また、においが強いものを入れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合は「ピカボトルシリーズ ステンレスボトル用洗剤」をご利用ください。(P.6、7「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。あらかじめ本体に熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)しておくことで保温(保冷)により効果的です。
本体塗装部にスジ状の傷のような跡がつく	金属などがこすれて発生した金属粉が付着したものです。	柔らかい消しゴムで消してください。
本体を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温・保冷効果を高めるために、本体内部に入っている金属箔がこすれて出る音です。異常ではありません。	